

問9. J R 日光駅が「関東の駅百選」に選ばれたのはいつでしょうか。

-
- ① 平成9年（1997） ② 平成10年（1998）
③ 平成11年（1999） ④ 平成12年（2000）
-

問10. 朱塗りの「神橋」は日光を象徴する橋ですが、橋の長さは何mでしょうか。

- ① 18m ② 28m
③ 38m ④ 48m
-

問11. 日光東照宮の「五重塔」の高さは何mでしょうか。

- ① 20m ② 26m
③ 30m ④ 36m
-

問12. 家光廟大猷院にある仁王門はいくつの脚があるのが特徴でしょうか。

- ① 4本 ② 6本
③ 8本 ④ 12本
-

名所・旧跡・人物

問9. の解答と解説

解答…① 平成9年（1997）

【解説】

運輸省関東運輸局（国土交通省）では「鉄道の日」行事の一環として「関東の駅百選」事業を実施、平成9年（1997）から4年間で管内の特徴ある駅を公募等で募集し、選考委員会で100駅を選定しました。

問10. の解答と解説

解答…② 28m

【解説】

聖地日光の表玄関口には、朱塗りに映える美しい神橋があります。橋の長さは28m、幅7.4m、高さ（水面より）10.6mあり高欄には親柱9本を建て、それぞれに擬宝珠が飾られ、橋の裏は黒漆塗りで、その他は朱に塗られています。

問11. の解答と解説

解答…④ 36m

【解説】

若狭（福井県）の小浜藩主、酒井忠勝の寄進で慶安3年（1650）に建立されたが文化12年（1815）に焼失し、3年後の文政元年（1818）に忠勝の子孫、忠進によって再建されました。高さは36m。内部は吹き抜けになっていて、中心を貫く直径60cmの心柱が4層（4階）から鎖でつり下げられ、その最下部は礎石の穴の中で10cmほど浮いています。

問12. の解答と解説

解答…③ 8本

【解説】

家光廟大猷院を目指すにあたって、まず出合うのが仁王門。8つの脚があるのが特徴。高さ3m20cmの密迹金剛と那羅延金剛の2体の仁王像が門を守っています。両妻流破風造りといわれる建築法で、欄間には透かし彫りが施されています。

問13. 日光東照宮の石鳥居の高さは何mでしょうか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 7 m | ② 9 m |
| ③ 10m | ④ 12m |

問14. 承応3年（1654）晃海大僧正によって憾満ヶ淵が開かれました。憾満ヶ淵の名称はある仏様が安置されたことによります。次の誰でしょうか。

- | | |
|---------|--------|
| ① 阿弥陀如来 | ② 八大竜王 |
| ③ 地藏菩薩 | ④ 不動明王 |

問15. 中禅寺湖畔にあるイタリア大使館別荘の設計者は誰でしょうか。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① アントニア・ルイス | ② アンドリュー・パークス |
| ③ アントニン・レーモンド | ④ アンドレア・バード |

問16. 日光には、多くの俳人歌人が訪れていますが、この地に入り自分の未熟さを悟り、引き返したと伝わる人は誰でしょうか。

- | | |
|--------|---------|
| ① 松尾芭蕉 | ② 与謝野蕪村 |
| ③ 西行法師 | ④ 若山牧水 |

名所・旧跡・人物

問13. の解答と解説

解答…② 9 m

【解説】

黒田藩 52万石の藩主、黒田筑前守長政が元和4年（1618）に奉納した石造りの鳥居で、高さ9m、柱の太さ3.6m、柱の中心の間隔が6.8m。京都八坂神社、鎌倉八幡宮のものと合わせて日本三大石鳥居と呼ばれています。江戸時代に建てられた石造りの鳥居としては日本最大です。

問14. の解答と解説

解答…④ 不動明王

【解説】

古来から不動明王の出現の地といわれ、晃海はこの渕に不動明王を祀りました。不動明王の真言「ナマクサマンダ・バサラナン・センダマカロシヤナ・ソワタヤウンタラタ・カンマン」の憾満（カンマン）により名づけられました。

問15. の解答と解説

解答…③ アントニン・レーモンド[®]

【解説】

本邸は有名な建築家で外交官でもあるアントニン・レーモンドの設計により建設されたもので、主に大使とその家族が使用したといわれています。

問16. の解答と解説

解答…③ 西行法師

【解説】

稲荷町にある稲荷神社境内にひときわ大きな岩があります。昔、西行法師が日光巡礼の際、子供に声をかけたところ、すらすらと歌で返答された。西行法師は己の未熟さを知り、その先をあきらめて引き返したと伝わる岩「西行戻し石」があります。

問17. 左甚五郎の作と伝えられる「眠り猫」の彫刻がありましたが、その真裏に彫られている動物は何でしょうか。

- ① 犬
③ 鼠

- ② 雀
④ 虎

問18. 日光東照宮の神厩舎の横に、幹の太さが約3mもある木が1本高くそびえ立っています、この木は何という木でしょうか。

- ① スギ
③ ケヤキ

- ② コウヤマキ
④ イチイ

問19. 日光山内にはいくつかの山がありますが、徳川家康の御宝塔のある山はどこでしょうか。

- ① 日光山
③ 外山

- ② 恒例山
④ 大黒山

問20. 日光総合支所（旧日光市役所本庁）は、市庁舎として建築された建物ではありません。当初の目的は何だったでしょうか。

- ① ホテル
③ 学校

- ② 警察署
④ 飲食店

名所・旧跡・人物

問17. の解答と解説

解答…②雀

【解説】

東回廊の奥社参道入り口に左甚五郎の作と伝えられ、日光東照宮の中で最も有名な彫刻です。眠り猫の真裏に雀の彫刻があります。猫が起きていたら雀は食われてしまいますが、日光東照宮では猫も居眠りして雀と共に存共榮、戦乱が治まり平和な時代がやってきましたことを表しています。

問18. の解答と解説

解答…②コウヤマキ

【解説】

日光東照宮の大造替を行なった徳川3代将軍家光が自らの手で植えたと伝えられ、幹の太さは約3m、推定樹齢360年以上です。

問19. の解答と解説

解答…②恒例山

【解説】

古代から日光山の中心的存在となる山で、日光東照宮造営以前には勝道上人墓所がありました。かつては山麓に新宮（日光二荒山神社）や常行堂など、日光山の重要な堂社が建てられていました。

問20. の解答と解説

解答…①ホテル

【解説】

大正時代、日光を訪れる外国人観光客のために「大名ホテル」として建設されました。しかし、ホテルとしての営業はほとんどされず、その後古河電気工業の所有となりましたが、寄贈を受け昭和29年（1954）から庁舎として使用されています。平成17年（2005）、国の登録有形文化財となりました。

問21. 日光東照宮表門前の東側の石垣に使われているもっとも大きな石を通称何と呼ぶでしょうか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 茄子丸 | ② 茄子丸 |
| ③ 阿房丸 | ④ 馬鹿丸 |

問22. 稲荷川沿いに香車堂がありますが、何のお守りとして祈願されているでしょうか。

- | | |
|------|--------|
| ① 合格 | ② 交通安全 |
| ③ 安産 | ④ 子宝 |

問23. 小田代原にあるシラカバの木は多くのカメラマンに親しまれるうち、ある愛称が付けられました。それは次のどれでしょうか。

- | | |
|--------|---------|
| ① 虞美人 | ② 貴婦人 |
| ③ 美白美人 | ④ 見返り美人 |

問24. 日光山輪王寺護摩堂には開運の三天がまつられています。次のうち、その三天に含まれないのはどれでしょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 毘沙門天 | ② 大黒天 |
| ③ 弁財天 | ④ 惠比寿天 |

名所・旧跡・人物

問21. の解答と解説

解答…③阿房丸

【解説】

実測で縦3.25m、横6.3mにもなる。日光東照宮建設の報告書「御造営帳」によると工費の13%が石工事に注ぎこまれました。



問22. の解答と解説

解答…③安産

【解説】

神橋から滝尾神社までの間にある、楊柳観音をまつる安産信仰の社。「香車堂」とも呼ばれ、直進しかできない香車の駒に、安産の願いを託しています。

問23. の解答と解説

解答…②貴婦人

【解説】

「貴婦人」は小田代原のシンボルとして、カメラマンだけでなくさまざまに親しまれています。元は「カメラマンの木」という名前でしたが、口づてになるうちに現在では、今の愛称が定着したようです。

問24. の解答と解説

解答…④恵比寿天

【解説】

護摩堂は三仏堂（本殿）の裏手にある建物です。開運の三天として、毘沙門天、大黒天、弁財天がまつられています。

問25. 勝道上人が手刻されたと伝えられる、中禪寺の立木觀音は何の立木で作られているでしょうか。

- ① ヒノキ ② スギ
③ マツ ④ カツラ

問26. 日光東照宮境内にある本地堂（薬師堂）の内陣天井に有名な鳴龍が描かれています。その作者は誰でしょうか。

- ① 横山大観 ② 堅山南風
③ 小杉放庵 ④ 東山魁夷

問27. 日光東照宮の中心となる本殿の建築様式は何と呼ばれているでしょうか。

- ① 校倉造 ② 権現造
③ 書院造 ④ 寝殿造

問28. 日光東照宮石鳥居の「東照大権現」の額は、誰の書によるものでしょうか。

- ① 後陽成天皇 ② 後水尾天皇
③ 明正天皇 ④ 後光明明天皇

名所・旧跡・人物

問25. の解答と解説

解答…④カツラ

【解説】

勝道上人が湖中より出現された十一面千手觀音菩薩のおすがたを、湖岸のカツラの立木に手刻されたと伝えられています。



問26. の解答と解説

解答…②堅山南風

【解説】

本地堂焼失前の絵は狩野永真安信の筆によるといわれておりますが、現在の絵は堅山南風画伯によって復元されたものです。

問27. の解答と解説

解答…②権現造

【解説】

拝殿・石の間・本殿の3つを工の字形に配置し1棟を構成するのが権現造りです。

問28. の解答と解説

解答…②後水尾天皇

【解説】

石鳥居は黒田筑前守長政が元和4年（1618）に奉納した石造りの鳥居で、高さ9m、柱の太さ3.6m。後水尾天皇が書いた「東照大権現」の額は畳1枚分の大きさです。

問29. 日光山への入り口、大谷川にかかる朱塗りの神橋は、勝道上人にまつわる伝説から別の名でも呼ばれています。その名はどれでしょうか。

- | | |
|---------|---------|
| ① 山道の蛇橋 | ② 山間の申橋 |
| ③ 山菅の蛇橋 | ④ 山堂の竜橋 |

問30. 天海大僧正は、家康・秀忠・家光の3代に仕え、日光山に東照宮を祀り、日光山中興の祖ともいわれています。では諡号は何でしょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 慈覚大師 | ② 弘法大師 |
| ③ 慈眼大師 | ④ 伝教大師 |

問31. 花石神社には根府川石に刻まれた「鹿のみて いまも
なくてふ下野の なきむし山の峰のまどかさ」の歌碑
があります。誰の歌碑でしょうか。

- | | |
|--------|---------|
| ① 若山牧水 | ② 伊藤左千夫 |
| ③ 小杉放庵 | ④ 田山花袋 |

問32. 東照公御遺訓には人の一生は何を負うて遠き道をゆく
が如しといっているのでしょうか。

- | | |
|------|------|
| ① 荷物 | ② 重荷 |
| ③ 薪 | ④ 苦勞 |

名所・旧跡・人物

問29. の解答と解説

解答…③山管の蛇橋

【解説】

男体山をめざす勝道上人一行が大谷川に道を阻まれた際、神仏に加護を求めるべく、深沙王（じんじやおう）が現れました。深沙王が放った2匹の蛇は川にかかり、その背から山菅が生えて橋となり、一行は無事渡ることができたという伝説から「山菅の蛇橋」とも呼ばれます。神橋を渡った正面には、深沙王をまつる深沙王堂が建てられています。

問30. の解答と解説

解答…③慈眼大師

【解説】

天海大僧正は、慶長18年（1613）日光山の貫主となり、家康の遺言によつて日光東照宮の造営を差配する。さらに、寛永13年（1636）の大造替にも携わり、寛永20年（1643）108歳で没したといわれている。その5年後に朝廷より大師号を追贈されました。

問31. の解答と解説

解答…①若山牧水

【解説】

若山牧水は、大正11年（1922）10月28日、金精峠を越えて湯元に1泊、29日中禅寺に1泊しました。30日には馬返しより電車に乗り窓から鳴虫山を眺め、友人から鹿の話などを聞きました。その時の歌で牧水自筆の文字が刻まれています。

問32. の解答と解説

解答…②重荷

【解説】

人の一生は重荷を負て遠き道をゆくが如し いそぐべからず 不自由を常とおもえば不足なし こころに望みおこらば困窮したる時を思いだすべし

堪忍は無事長久の基 いかりは敵とおもへ 勝事ばかり知てまくる事をしらざれば害其身にいたる おのれを責て 人をせむるな 及ばざるは過たるよりまされり

問33. 日光山中禪寺の立木觀音は誰の作とされているでしょうか。

- ① 空海
- ② 源頼朝
- ③ 勝道上人
- ④ 左甚五郎

問34. 日光山を開山したとされる人物は誰でしょうか。

- ① 弘法大師
- ② 勝道上人
- ③ 弁覺法印
- ④ 天海僧正

問35. 日光田母沢御用邸は、もとは誰の別邸だったでしょうか。

- ① 小林年保
- ② 青木周蔵
- ③ 山縣有朋
- ④ 田中正造

問36. 日光を訪れ、日光を愛した文人墨客は数多くあります。では、「しばらくは　滝にこもるや　夏の初」は誰の句でしょうか。

- ① 松尾芭蕉
- ② 平畠静塔
- ③ 若山牧水
- ④ 与謝蕪村

名所・旧跡・人物

問33. の解答と解説

解答…③勝道上人

【解説】

日光山中禪寺の立木觀音は日光山開祖、勝道上人の作とされ、上人が湖の西に船出したとき水の中から金色の千手觀音が出現、その姿を彫ったと伝えられています。



問34. の解答と解説

解答…②勝道上人

【解説】

勝道上人は、少年期から山岳修行を行い、天平神護元年（765）補陀洛山（男体山）登頂をめざしました。その16年後の延暦元年（782）ついに開山をはたし、四本龍寺や神宮寺（中禪寺）を建てるなど、日光山繁栄の源を作りました。

問35. の解答と解説

解答…①小林年保

【解説】

日光田母沢御用邸は、日光出身で明治時代の銀行家・小林年保の別邸に、当時、赤坂離宮などに使われていた旧紀州徳川家江戸中屋敷の一部（現在の三階建て部分）を移築し、その他の建物は新築される形で、明治32年（1899）に大正天皇（当時の皇太子）のご静養地として造営されました。

問36. の解答と解説

解答…①松尾芭蕉

【解説】

元禄2年（1689）日光山の参詣を終えた芭蕉と曾良は卯月2日、裏見の滝と含満が淵を見学し日光を後にしました。現在この句碑は安良沢小学校の玄関脇に建てられています。

問37. 日光二荒山神社の楼門から日光東照宮に通じる参道を何というでしょうか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 西参道 | ② 表参道 |
| ③ 上新道 | ④ 下新道 |

問38. 日光東照宮陽明門を入って左側の建物は神輿舎と呼ばれています。中に3基の神輿が納められております。3基の神輿に乗らない人は誰でしょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 徳川家康 | ② 織田信長 |
| ③ 源頼朝 | ④ 豊臣秀吉 |

問39. 日光東照宮境内に神馬がいる建物があります。何と呼ばれているでしょうか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 内場所 | ② 御水舎 |
| ③ 神厩舎 | ④ 神馬所 |

問40. 日光東照宮の表門の左右に祀られている像はどれでしょうか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 菩薩像 | ② 天王像 |
| ③ 仁王像 | ④ 阿難像 |

名所・旧跡・人物

問37. の解答と解説

解答…③上新道

【解説】

楼門から日光東照宮に通じる参道を、上新道（かみしんみち）と呼んでいます。堀ぞいには杉の巨木や石灯籠が並び、味わい深い小道です。



問38. の解答と解説

解答…②織田信長

【解説】

中央の三葉葵の紋が入った神輿に乗るのが日光東照宮の主祭神である徳川家康。向かって右の神輿は配祀神の豊臣秀吉・左が同じく配祀神・源頼朝の神輿です。春秋の千人行列の正式名称は神輿渡御祭、つまりこれらの神輿が主役です。

問39. の解答と解説

解答…③神厩舎

【解説】

日光東照宮の中に神様に仕える神馬がいる建物が神厩舎と呼ばれるところです。神厩舎は東照宮で漆を塗っていない唯一の素木造りです。この神厩舎の長押には有名な三猿の彫刻があります。

問40. の解答と解説

解答…③仁王像

【解説】

表門は正面左右に「阿吽 - あうん -」の仁王像（身長 4 m）を安置しているので、昔は仁王門と呼ばれていました。仁王は仏教の守り神。明治 4 年（1871）実施の神仏分離で、この仁王像は大猷院の仁王門に移されました。それ以来、門の名称も表門と呼ばれるようになりました。仁王像が戻ってきたのは明治 30 年（1897）です。

問41. 弘仁11年（820）弘法大師空海が滝尾・寂光・生岡等と共に創建したといわれる神社は次のうちどれでしょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 八幡神社 | ② 清滝神社 |
| ③ 日枝神社 | ④ 鉢石神社 |

問42. 日光東照宮の神厩舎は「三猿」で有名ですが、実際には8面の猿の彫刻が掲げられております。この8面の猿の彫刻は人の何をあらわしているでしょうか。

- | | |
|--------|-------|
| ① 喜怒哀楽 | ② 習慣 |
| ③ 生き方 | ④ 守り神 |

問43. 日光田母沢御用邸記念公園には、全国でも数少ない和風宮殿様式の建築物があります。この御用邸は何処の建物を一部移築したのでしょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 赤坂離宮 | ② 浜離宮 |
| ③ 江戸城 | ④ 京都御所 |

問44. 日光山輪王寺三仏堂に安置されている仏像の正しい組み合わせはどれでしょうか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 正觀音、阿弥陀如來、如意輪觀音 | ② 千手觀音、阿彌陀如來、馬頭觀音 |
| ③ 日光菩薩、藥師如來、月光菩薩 | ④ 普賢菩薩、釈迦如來、文殊菩薩 |

名所・旧跡・人物

問41. の解答と解説

解答…②清滝神社

【解説】

弘仁11年（820）弘法大師空海が滝尾・寂光・生岡等と共に当社を創建したと伝えられています。社名は、社殿背後のお滝を含めた地形が中国大鷲山の清滝に似ていることから命名されたといわれています。



問42. の解答と解説

解答…③生き方

【解説】

1面目には母猿・子猿、2面目「見ザル・言わザル・聞かザル」、3面目は一人立ちする猿、4面目は大きな志を抱く猿2匹、5面目は人生に悩む猿と励ます猿3匹、6面目は恋に悩む猿2匹、7面目は結婚した2匹の猿、8面目はおなかの大きな猿です。（赤ちゃんは描かれていないので含まず。）

問43. の解答と解説

解答…①赤坂離宮

【解説】

日光田母沢御用邸は、大正天皇が皇太子のとき、避暑のために建てられました。大正天皇は大正14年（1925）まで、毎年のように夏をこの御用邸で過ごしました。この御用邸は明治31年（1898）、赤坂離宮から移したもので骨子として建てられ、後の大正9年（1920）に増改築されて現在の形が完成しました。

問44. の解答と解説

解答…②千手観音、阿弥陀如来、馬頭観音

【解説】

山岳信仰の地である日光山は明治の神仏分離まで、神仏融合の考え方で、男体山＝男体権現＝千手観音、女峰山＝女峰権現＝阿弥陀如来、太郎山＝太郎権現＝馬頭観音の信仰形態でした。三仏堂には日光山の本地仏として3尊が安置されています。

問45. 田母沢御用邸は天皇の静養地として造営されました。
何天皇の御用邸であったのでしょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 今上天皇 | ② 昭和天皇 |
| ③ 大正天皇 | ④ 明治天皇 |

問46. 3代将軍徳川家光は祖父である徳川家康を大変尊敬しておりました。日光山に眠る家光が朝廷から賜った法号は何でしょうか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 台徳院 | ② 大猷院 |
| ③ 嶽有院 | ④ 常徳院 |

問47. 日光山輪王寺三仏堂裏手にある相輪様は家光の発願によって建てられたものですが、誰が建てたのでしょうか。

- | | |
|------|------|
| ① 最澄 | ② 天海 |
| ③ 空海 | ④ 公海 |

問48. 日光東照宮陽明門を入って左側の建物「神輿舎」の内部の天井画はどれでしょうか。

- | | |
|------|------|
| ① 龍 | ② 猛 |
| ③ 天女 | ④ 仙人 |

名所・旧跡・人物

問45. の解答と解説

解答…③大正天皇

【解説】

建物は、大正天皇が皇太子のとき、大正天皇の静養地として利用していました。大正天皇は大正14年（1925）まで、毎年のように夏を日光田母沢御用邸で過ごされています。



問46. の解答と解説

解答…②大猷院

【解説】

大猷院とは、徳川3代将軍家光が死後、後光明天皇から賜った法号をいいます。つまり徳川家光の墓所なのです。家光は、祖父である家康を心から深く尊敬し「死んだ後も東照大権現にお仕えする」という遺言を残し日光山に眠っています。

問47. の解答と解説

解答…②天海

【解説】

三仏堂の斜め裏手にある相輪様は、寛永20年（1643）、3代将軍家光の発願によって天海大僧正が建てたものです。天台宗総本山の比叡山延暦寺にある、天台宗宗祖伝教大師最澄が初めて建てた様を模して造られました。様面に、伝教大師と天海大僧正の銘文があります。

問48. の解答と解説

解答…③天女

【解説】

神輿舎の建物内部の天井画は天女舞楽の図です。天女の絵では日本一の美人といわれています。

問49. 徳川家康が朝廷から贈られた神号は何でしょうか。

- ① 東照大権現
- ② 東照大明神
- ③ 徳川大権現
- ④ 徳川大明神

問50. 日光東照宮に最後に参拝した将軍は誰でしょうか。

- ① 徳川吉宗
- ② 徳川綱吉
- ③ 徳川家齊
- ④ 徳川家慶

問51. 「大猷院」は、誰の墓所でしょうか。

- ① 徳川家康
- ② 徳川家光
- ③ 勝道上人
- ④ 徳川秀忠

問52. 日光東照宮が「寛永の大造替」で現在のような絢爛豪華な建物に生まれ変わったのは、誰によるものでしょうか。

- ① 徳川綱吉
- ② 徳川家光
- ③ 徳川家忠
- ④ 徳川吉宗

名所・旧跡・人物

問49. の解答と解説

解答…① 東照大権現

【解説】

徳川家康は元和2年(1616)駿府において75歳の生涯を閉じました。翌年、日光に社殿が造営され、朝廷から東照大権現の神号が贈されました。遺言どおり、神として祀られたのです。

問50. の解答と解説

解答…④ 徳川家慶

【解説】

天保14年(1843)4月17日、12代將軍徳川家慶が最後です。

問51. の解答と解説

解答…② 徳川家光

【解説】

「大猷院」とは、徳川家光が死後、後光明天皇からたまわった法号です。家光の死の翌年承応元年(1652)2月16日に起工し、わずか1年2ヶ月後の承応2年(1653)4月4日に完成しました。大棟梁平内大隅守応勝が腕を振るった江戸時代初期の代表的建築である。本殿・相の間・拝殿は、国宝指定です。

問52. の解答と解説

解答…② 徳川家光

【解説】

3代將軍家光は家康を敬愛していました。通称「御造営帳」によると総工費は金56万8000両、銀100貫匁、米1000石とあります。現在の米価と大工日当に換算して約2,000億円に相当します。

問53. 日光二荒山神社本殿は誰が寄進したでしょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 徳川家光 | ② 徳川家康 |
| ③ 徳川秀忠 | ④ 徳川家綱 |

問54. 「二荒や 紅葉の中の 朱の橋」と歌ったのは誰で
しょうか。

- | | |
|--------|--------|
| ① 若山牧水 | ② 岡村莊八 |
| ③ 松尾芭蕉 | ④ 与謝蕪村 |

問55. 俳人芭蕉が奥の細道行脚で日光に来て詠んだ「あらた
ふと青葉わか葉の○○○」の句碑がありますが、この
句の○に入る字は次のどれでしょうか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 美しさ | ② 日の光 |
| ③ 葉の光 | ④ 春の風 |

問56. 日光東照宮には国宝指定の陽明門がありますが、別称
は何と呼ばれているでしょうか。

- | | |
|---------|---------|
| ① 日暮らし門 | ② 夕焼け門 |
| ③ あきない門 | ④ 開かずの門 |